

- 問1 アフリカ大陸において、植民地時代に引かれた国境線が、現在の社会にどのような影響を与えているか述べたものとして、適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 民族自決の原則に基づき、住民投票によって自分たちで国境線を決定したため、民主的な国家運営が行われている
 2. 民族のまとまりを無視して国境線が引かれたため、独立後に国内で紛争が起こる原因となった
 3. 高い山脈や大きな河川などの自然の地形を基準に国境線が引かれたため、国境争いがほとんど起こらない
 4. 古くから栄えた王国の領土をそのまま国境としたため、各国の歴史的な一体性が保たれている
- 問2 アフリカの食料問題において、米の生産量が増加傾向にあるにもかかわらず、域外からの輸入依存が解消されず、むしろ需給の差が拡大すると予測されている主な背景は何ですか。その理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 米の国際価格が大幅に下落しており、域内で生産するよりも輸入する方が経済的負担が少ないため。
 2. すべてのアフリカ諸国がモノカルチャー経済から脱却し、農業を放棄して工業化に特化したため。
 3. 気候変動の影響によって米の栽培が完全に不可能になり、主食をすべて小麦に切り替えているため。
 4. 都市化や人口増加を背景に、域内の生産拡大のペースよりも、消費の拡大ペースの方が速いため。
- 問3 地中海に面したアフリカ北西端の国チュニジアの国旗には、赤地に白丸が配置され、その中に赤色の三日月と星がデザインされています。このように国旗に三日月と星が取り入れられている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. かつて支配を受けたヨーロッパ諸国で信仰されていたキリスト教の象徴だから。
 2. 農業において月の満ち欠けを基準とする独自の暦を用いていたから。
 3. チュニジアの主たる宗教であるイスラム教の伝統的な象徴だから。
 4. 古代カルタゴ時代から伝わる仏教の聖なる図案だから。
- 問4 サヘル地域において、砂漠化が進行する主な原因の一つである「過放牧」の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 人口増加に伴い家畜を増やすぎたことで、再生能力を超えて草を食べ尽くし草地を破壊すること
 2. 大規模な灌漑施設を建設して地下水を過剰に汲み上げ、毛細管現象によって地表に塩分を蓄積させること
 3. 化学肥料を大量に使用し続けたことで土壌の微生物が死滅し、土地が本来持つ生産力を失うこと
 4. 農地を確保するために広大な熱帯林を焼き払い、その灰を肥料として利用した後に土地を放置すること
- 問5 アフリカのウガンダでは、2004年の米の収穫面積が約9.3万ヘクタールで生産量が12.1万トンであったのに対し、2018年には収穫面積が約8.9万ヘクタールと微減したものの、生産量は24.6万トンへと倍増しました。このように、限られた面積の中で生産量を高める現象を説明する用語として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. モノカルチャー経済の克服
 2. 耕作限界地の拡大
 3. 農業生産性の向上
 4. 自給的農業への転換
- 問6 アフリカ大陸北東部のエジプト周辺の地図を確認すると、西部のリビアとの境界や南部のスーダンとの境界が、複雑な地形を無視した真っすぐな線で描かれています。このような国境線の特徴を説明した用語として、適切なものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 大きな河川の中央を境界とした、地形的な国境
 2. 経線や緯度を利用した、人為的・数理的な国境
 3. 海岸線の形に合わせて引かれた、入り組んだ国境
 4. 高い山脈の尾根をつないで設定された、自然国境
- 問7 アフリカの多くの国々では、独立後も民族間の対立や紛争が絶えない状況が続いています。このような問題が頻発する歴史的な背景について述べたものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 独立時にすべての国が急速な工業化を目指した結果、都市部と農村部の経済格差が広がり、特定の部族が富を独占する仕組みが作られたため。
 2. 広大なサハラ砂漠の拡大によって居住可能な土地が減少したため、水資源をめぐる宗教の異なる民族同士が衝突するようになったため。
 3. かつての宗主国であったヨーロッパ諸国が、現地の民族分布や文化的なまとまりを無視して、経線や緯線を用いた人工的な国境線を引いたため。
 4. アフリカ諸国の首脳たちが独立後の団結を深めるために、あえて複数の民族が混在するように自ら国境線を設定し直したため。
- 問8 アフリカ州の資源に関する記述として、コンゴ民主共和国のコバルトや南アフリカ共和国のマンガンのように、産出地が限られており、先端技術に不可欠な資源を指す言葉を答えなさい。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 鉄鉱石
 2. ボーキサイト
 3. 化石燃料
 4. レアメタル
- 問9 アフリカ大陸を通る主要な緯線と経線の位置関係について、具体的な地名との組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 本初子午線は大陸西側のアルジェリア付近を通り、赤道は大陸東部のケニア付近を通る。
 2. 日付変更線がアフリカ大陸の西端を通り、南回帰線がナイジェリア付近を通る。
 3. 本初子午線は大陸東部のエジプト付近を通り、赤道は大陸南端の南アフリカ共和国を通る。
 4. 東経135度の経線がアフリカ大陸の中央を通り、北回帰線がギニア湾付近を通る。
- 問10 2020年におけるアフリカ諸国の輸出額、国内総生産、および輸出上位品目の内訳を示した統計において、農産物や鉱産資源が輸出総額に占める割合が非常に高いことが示されています。このような輸出構造を持つ国の経済的な特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 国内の消費だけで経済が完結しているため、輸出価格の変動が国内総生産に影響することはない。
 2. 特定の一次産品の国際価格が下落すると、輸出額が減少し、国内総生産に大きな影響を及ぼす。
 3. 一次産品は国際市場で常に高値で安定して取引されるため、国内総生産は毎年確実に増加する。
 4. 工業製品の輸出割合が高いため、国際的な原料価格の変動による影響を受けにくい。
- 問11 アフリカ諸国の経済統計において、ナイジェリアでは輸出総額の約82%を原油が占め、ボツワナでは輸出総額の約88%をダイヤモンドが占めている状況があります。このような少数の一次産品に依存する経済構造が抱える問題点として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 国際的な取引価格の変動により、国家の収入が大きく左右され、経済が不安定になる。
 2. 高度な技術を要する工業製品の輸入が禁止され、国内の産業が発展しなくなる。
 3. 農産物の輸出を増やすことで、国内の食料自給率が常に100%を超えるようになる。
 4. 他国との関税が撤廃されるため、近隣諸国との間で経済格差が完全になくなる。
- 問12 赤道付近に位置する都市のなかで、年間の平均気温が約20℃で安定しており、降水量が年間を通じて約800mm弱であるような、ケニアのナイロビに見られる気候の特徴について述べた文として正しいものはどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 砂漠が広がっており、一日のなかでの気温の変化が極めて激しい
 2. 一年のなかに四季の変化がはっきりとあり、冬には雪が降る
 3. 一年中高湿多湿で、毎日のように激しい雨（スコール）が降る
 4. 標高が高いため、赤道直下であっても一年中涼しく過ごしやすい

答え合わせ・解説

問1	答え 2 民族のまとまりを無視して国境線が引かれたため、独立後に国内で紛争が起こる原因となった	ヨーロッパ諸国による植民地支配の過程で引かれた国境線は、言語や宗教、生活習慣が異なる民族を強引に一つの国家としてまとめたり、逆に一つの民族を分断したりしました。1960年の「アフリカの年」を中心に多くの国が独立を果たしましたが、この人為的な国境線が維持されたため、国内での主導権争いや民族対立が激化し、内戦などの深刻な社会問題を引き起こす要因となりました。
問2	答え 4 都市化や人口増加を背景に、域内の生産拡大のペースよりも、消費の拡大ペースの方が速いため。	アフリカ諸国では、急速な人口増加に加えて、都市部を中心に調理が簡便な米の需要が爆発的に高まっています。農業技術の改善によって生産量自体は伸びていますが、消費の増加スピードがそれを上回っているため、自給率が上がらずに輸入に頼らざるを得ない状況が生じています。これは「生産量」と「消費量」のバランスという視点から理解すべき重要な課題です。
問3	答え 3 チュニジアの主たる宗教であるイスラム教の伝統的な象徴だから。	チュニジアでは多くの国民がイスラム教を信仰しており、その象徴である三日月と星が国旗に描かれています。古代にはカルタゴが栄えた地域としても知られています。
問4	答え 1 人口増加に伴い家畜を増やしすぎたことで、再生能力を超えて草を食べ尽くし草地を破壊すること	サヘル地域では人口の急増により、食糧や収入を得るために許容範囲を超える数の家畜（牛や羊など）を飼育する「過放牧」が行われています。家畜が草を根こそぎ食べてしまうことで、地面を覆う植物が失われ、雨による土壌流出や風による浸食が進むことが砂漠化の大きな要因です。
問5	答え 3 農業生産性の向上	収穫面積（投入された土地資源）が増えていない状況で、生産量（得られた成果）が飛躍的に伸びることを「生産性の向上」と呼びます。ウガンダの事例では、14年間で収穫面積あたりの収穫量（単収）が劇的に改善されており、効率的な農業への移行が進んでいることが読み取れます。
問6	答え 2 経線や緯度を利用した、人為的・数理的な国境	山脈、河川、湖などの自然の地形を利用した国境を「自然国境」と呼ぶのに対し、経緯線などを利用した国境は「数理的国境」と呼ばれます。エジプト周辺のような砂漠地帯では、目印となる自然地形が乏しいこともあり、地図上の数値を基準とした直線的な国境が多く採用されています。これは人間が意図的に引いた「人為的な境界」の代表例です。
問7	答え 3 かつての宗主国であったヨーロッパ諸国が、現地の民族分布や文化的なまとまりを無視して、経線や緯線を用いた人工的な国境線を引いたため。	アフリカの国境線の多くは、19世紀末のベルリン会議などを通じて、ヨーロッパの列強諸国が自国の利害を優先して決定しました。この際、現地に住む人々の言語や宗教、生活圏といった民族的な境界線（自然的・文化的境界）を無視して、経緯線などを利用した直線的な境界が引かれました。その結果、一つの国の中に敵対する複数の民族が閉じ込められたり、同一の民族が複数の国に分断されたりすることになり、これが独立後の政情不安や民族紛争の主要な原因となっています。
問8	答え 4 レアメタル	アフリカ大陸では、ナイジェリアや北アフリカ諸国で産出される原油などのエネルギー資源に加え、南部や中部を中心に先端工業に欠かせない希少な金属が多く産出されます。これらは産出国の経済を支える一方で、価格の変動が国の財政に大きな影響を与える要因にもなっています。
問9	答え 1 本初子午線は大陸西側のアルジェリア付近を通り、赤道は大陸東部のケニア付近を通る。	アフリカ大陸の形状と主要な基準線の位置関係を整理する必要があります。経度0度の本初子午線はアフリカ大陸の西側（アルジェリアなど）を通過します。緯度0度の赤道は大陸の中ほどを横切り、ギニア湾からケニアへと伸びています。エジプトは大陸の北東、南アフリカ共和国は大陸の南端に位置するため、それぞれ基準線からは離れています。また、日付変更線は太平洋を通るため、アフリカ大陸とは関係がありません。
問10	答え 2 特定の一次産品の国際価格が下落すると、輸出額が減少し、国内総生産に大きな影響を及ぼす。	アフリカ諸国の多くは、輸出の多くを特定の農産物や鉱産資源に依存しています。これらの一次産品は、世界の景気や需要のバランスによって国際価格が激しく変動する性質があります。そのため、価格が急落すると国の稼ぎである輸出額が激減し、国内総生産（GDP）が大きく落ち込むなど、国家財政が不安定になるリスクを抱えています。
問11	答え 1 国際的な取引価格の変動により、国家の収入が大きく左右され、経済が不安定になる。	少数の資源や作物に頼るモノカルチャー経済では、その産品の国際価格が暴落した際に国全体の財政が大きな打撃を受けます。これを克服するため、多くの国で産業の多角化（他の工業などの育成）が目指されています。
問12	答え 4 標高が高いため、赤道直下であっても一年中涼しく過ごしやすい	ケニアの首都ナイロビは標高約1700mの高地に位置しています。このため、熱帯の緯度にあいながら平均気温は20℃を下回る程度で安定しており、「常春」とも呼ばれる気候を形成しています。気温の折れ線グラフがほぼ横ばいになるほど年較差が小さいことが、この地域の気候グラフにおける大きな特徴です。